

ほけんだより 12月

新座市立東北小学校
校長：齊藤 直之
養護教諭：池下乃彩
令和7年12月19日



冬は気温が低く、乾燥しているため様々な感染症が流行しやすい季節です。冬の感染症と言えばインフルエンザのイメージが強いですが、「感染性胃腸炎」も特に冬の季節に流行しやすく注意したい感染症です。

感染性胃腸炎とはウイルスや菌によっておこる感染症です。ノロウイルスやロタウイルスなどが主な原因です。感染性胃腸炎では嘔吐や下痢の症状がみられ、咳やくしゃみなどの飛沫感染だけではなく、嘔吐物から周りの人へ感染が広がることが特徴です。そのため、感染性胃腸炎の場合は、嘔吐物や便などを正しく処理する必要があります。今回の保健だよりでは東北小学校でも実践している嘔吐処理の方法についてご紹介したいと思います。正しく処理をしないと感染拡大のリスクが高まりますので、ぜひご家庭でも実践してみてください。

嘔吐処理の方法

- 1 窓を開けて、手袋・マスク・(エプロン)を着用します。
- 2 キッチンペーパーや新聞紙などで嘔吐物をおおいます。
- 3 上から次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒液をたっぷりかけ、10分前後放置します。
- 4 消毒液に浸している間に、消毒液で嘔吐物の周辺もふき取り消毒します。
- 5 ペーパータオルなどで嘔吐物を包み、ふき取ります。
ふき取った嘔吐物はビニール袋に入れてしっかり口をしぼります
(袋は二重にすると望ましいです)。
手袋・マスクを外して同じ袋に入れて捨てます。
- 6 手洗い・うがいをして終了

*次亜塩素酸ナトリウムは約0.1%の濃度に薄めて使用します。
(例・キッチンハイターの場合、1Lの水に10mlの原液を混ぜる。)
*次亜塩素酸ナトリウムは消毒作用が強いため、直接手に触れないようにしてください。布類や木材など素材によっては脱色するものがあるので注意してください。

***消毒は必ず大人が行ってください。**



ウイルスが空気中に広がるのを防ぐために、嘔吐物はペーパータオルなどでおおいます。



汚染されている場所を広げないように、外側から内側にかけてふき取ります。

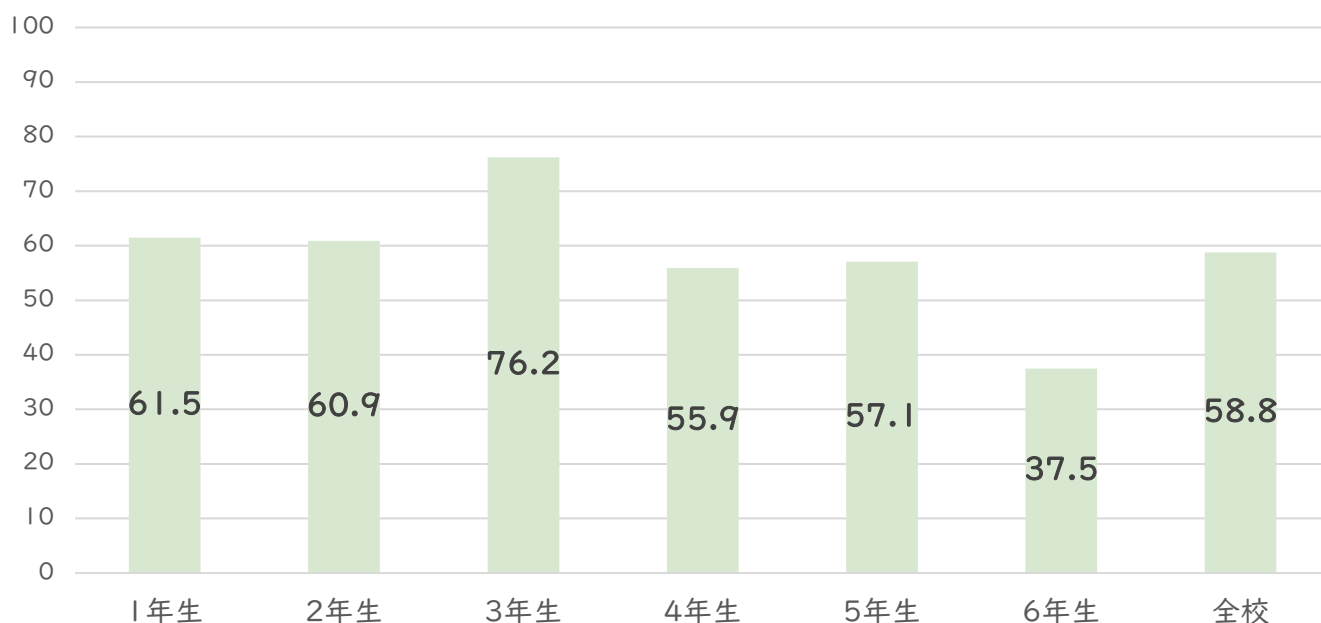
児童のみなさんへのおねがい

- 吐いてしまったときや、気分が悪いときはすぐに先生に伝えましょう。
- 嘔吐物や、消毒中の場所は絶対にさわらないようにしましょう。
- まわりに嘔吐した人がいるときは、できるだけその場から離れましょう。
- 普段からこまめに手洗い・うがいをして、感染症を予防しましょう。

むし歯の受診率について

先月、歯科健診の結果のお知らせをむし歯がある児童に再配布したところ10名の児童から治療済みの報告をいただきました。全校の治療率は50%から58.8%になりました。受診済みでまだ結果のお知らせを持っている人は担任まで提出をお願いします。

R7 むし歯の受診率



養護教諭 山崎より

私事ではございますが、12月2日より産休をいただくこととなりました。東北小学校に赴任して5年間、たくさんの児童と関わる事ができて大変充実した毎日を過ごすことができました。また、保護者の皆さまにはたくさんのご支援や温かいお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。休業中は担当が変わり、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。復帰の際には、また皆さまとお子さまたちとお会いできることを楽しみにしております。